

仕事はここまで削減できる！

大分大学教育学部附属小学校

以前は不夜城だった職場が、現在は 18:45 には全員が退庁、朝は、7:15 より以前には登庁不可、土日は完全閉庁

いまこそ、ビルドからスクラップへ舵を切るとき！「子どものために」スクラップに着手。限られた時間内にやるための工夫を出し合ってきた。この改革で大事にしてきたのは、次の4つ。

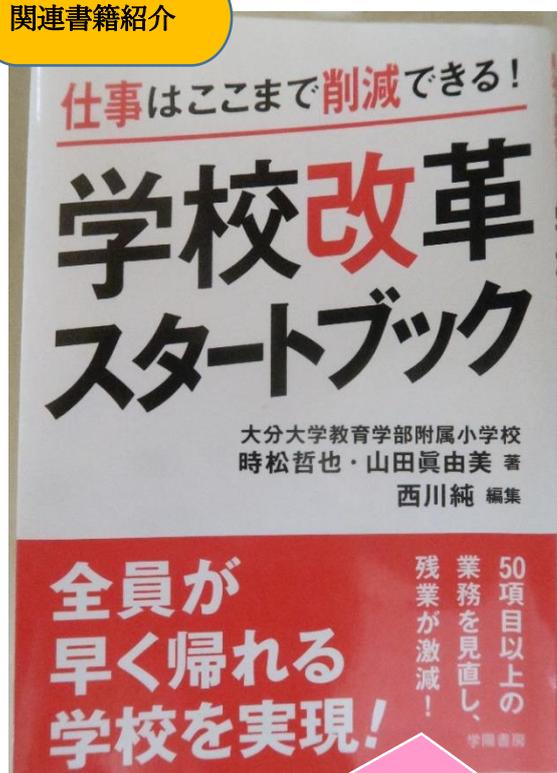
- ① 使命とミッションの再確認。方針を明確にし、ベクトルをそろえる。
- ② 組織を大胆に見直し、指揮系統を明確にした上で、チームとしての教育活動に取り組む。
- ③ 「毎年していたから」などの理由による前例踏襲を見直し、本当に必要なものを質と効率を上げて取り組む。
- ④ 公に通用する(グローバル社会で活躍できる)子どもを育成するために、身近で当たり前のこと(挨拶・掃除・はきものそろえ)を、全職員で徹底指導。

※学校改革スタートブック あとがきより

文部科学省も認める働き方改革！



関連書籍紹介



山あり谷ありの改革の様子をリアルに記録。関係者の証言も満載。働き方改革を通して、組織改革、質の高い、密度の濃い教育へと大転換！ 2020年3月24日発行

働き方改革 ビフォー アフター (大分大学附属小方式)

あらゆる業務を一切の聖域なく、7つ視点で見直しを行いました。

- ①子どもの肉体的、精神的負担になっていないか。②年間の授業時数内でできる活動であるか。③法令上守るべき内容を逸脱していないか。④教員の超過勤務になっていないか。⑤教員の負担過多で、子どもと過ごす時間を奪っていないか。⑥教員の精神的負担過多及び人材育成の妨げになっていないか。⑦PTA活動が会員の肉体的、精神的負担になっていないか。

50項目以上の業務を見直し、残業が激減！

○見直した業務 (抜粋)

ビフォー	アフター
各自に任された勤務時間	→7:15以前は登庁不可、18:45完全退庁完了
休日出勤	→禁止
民間研究団体の事務局	→廃止(県教育委員会の指導で、県内部員に移譲)
教育実践冊子作成	→廃止
自作テスト	→単元テストと全国的な標準テスト購入
学級、学年集金の煩雑な教員負担	→教務主任が取りまとめ、支払いは附属事務室へ
文書が多くてわかりにくい提案文書	→原則1ペーパー
3学期制	→2学期制(前期後期制へ校則変更)
家庭訪問	→廃止(R1より全学年保護者面談)
長くて多い会議の精選	→経営会議と運営委員会で決定(職員会議廃止)
全校で毎日取り組んでいた日記	→廃止(行事にあわせた「成長ノート」で指導)
教員が集金していた行事写真	→廃止(写真を取り扱う業者がネット販売へ)
夏季休業中の勤務	→夏季休業中に一斉閉庁日を設けて確実に休む
公開研究発表会	→県の教育課題に応える授業公開(校内研の公開)
卒業生を送る会	→廃止(第2卒業式のような大がかりな会を廃止)
毎週の委員会活動	→月1回
新聞委員会作成の毎日発行新聞	→月1回程度
音楽担当教諭のコーラス部顧問	→廃止(コーラス部保護者が指導者を募集)
各学年の年度末文集	→廃止(6年卒業アルバムのみ)
分厚いPTA懇談資料	→全校で項目を統一して、2~3枚程度
対応が難しい案件の個人対応	→教務主任が窓口となり組織対応
令和4年度実現項目・さらなる改善へ！	
通知表 学期ごとの所見	→所見を年度末のみ
分厚い教育課程	→教育課程の電子検索型への改訂
項目ごとに分節化された授業観察シート	→改善の重点を見える化(様式の簡略化)
学級通信	→学年通信のみ発行で統一。月1回程度へ
児童アンケート・ふり返りの集計	→WEB集計

仕事はここまで削減できる! 学校改革スタートブック: 時松哲也, 山田真由美, 西川 純 + 配送料無料 (amazon.co.jp)